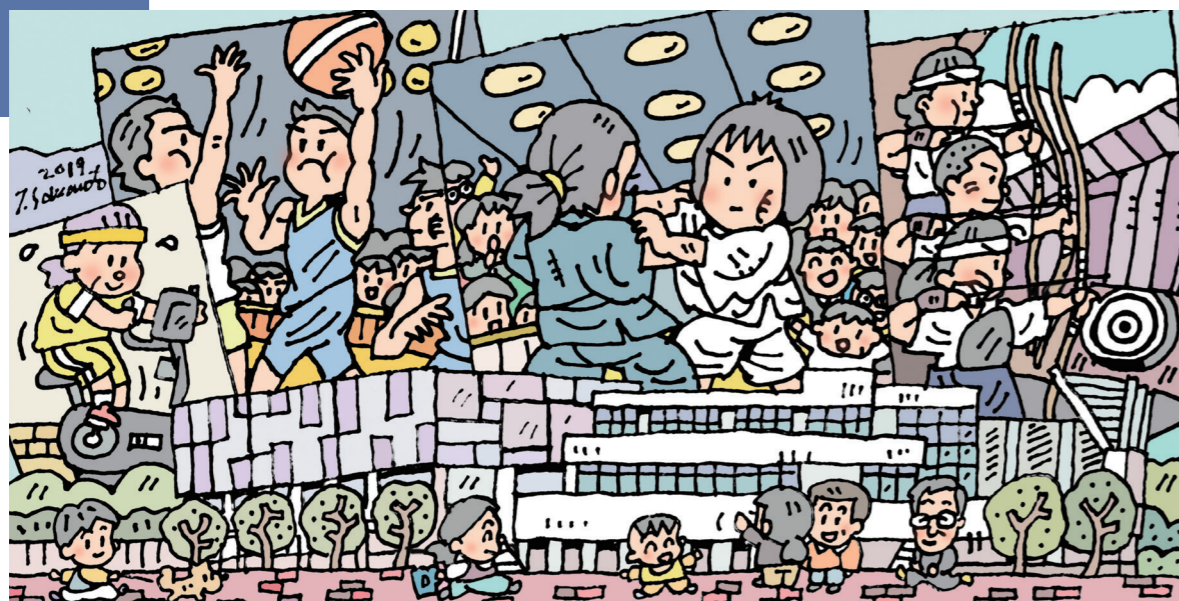


間違い探し

お楽しみクイズ

スポーツのまち 全部見つけれられるかな?

A



B



正解者の中から抽選で10人に図書カードを差し上げます

上のA・Bのイラストを見比べてください。間違いは全部でいくつあるでしょう。次の①～③から選んでください。印刷上のにじみなどは含みません。

- ① 6 ② 7 ③ 8

【申込締切】1月15日(火) (必着)
【申込方法】答え、住所、氏名、年齢、電話番号、紙面への要望や意見をはがき、電子メールで連絡。複数の応募は不可。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます
〒広報戦略課 (☎830・8520 住所記入不要、☒kouhou@city.kurume.fukuoka.jp)



「余震に気をつけろ」などと声を掛け合いながら作業を進めました

観覧車のゴンドラから救出
鳥類センター防災訓練

鳥類センターで、12月10日、地震による停電を想定した防災訓練が行われました。観覧車内に取り残された来園者を救出するため、久留米広域消防本部の高度救助隊が出動。命綱を付けた隊員が支柱を伝ってゴンドラに接近し、来園者に見立てたタミール人形をロープを使って地上に降ろしました。隊員たちは、本番さながらの緊張感の中、救出の手順を確認していました。

12月9日、混声合唱組曲「筑後川」の初演から50周年を記念した、久留米音協合唱団の演奏会が石橋文化ホールで開催されました。筑後川は、詩人丸山豊と作曲家團伊玖磨という久留米ゆかりの2人が手掛けた合唱組曲。昭和43(1968)年に同合唱団が初演し、今でも全国各地で歌い継がれる名曲です。初演当時のメンバーも出演し、力強い歌声を響かせました。



アンコールで第5楽章「河口」を観客と一緒に歌いました

市政の動き

KBCと防災協定を締結

久留米市と九州朝日放送は「防災パートナーシップに関する協定」を締結しました。地震や豪雨などの際、市が提供する避難情報などを速やかにテレビやラジオで放送するというものです。12月14日の締結式では、災害による被害を減らすため協力していくことを確認しました。今後、災害映像を活用した啓発なども連携して取り組んでいきます。
(☎防災対策課(☎0942・30・9074、FAX0942・30・9712))



民放テレビ局と災害協定を締結するのは今回が初めてです

テレワーク推進への調査対象に

働き方改革の取り組みが求められる中、注目される「多様な働き方」。その一つ「テレワーク」とは、ICTを活用した、場所を選ばない働き方です。障害や子育てなどで通勤が難しい人でも働きやすくなります。テレワークの導入を促している久留米市は、総務省が行う「まちごとテレワーク調査事業」の対象になりました。同事業では、関係団体へのアンケートなどを実施。導入の現状や課題を把握し、方策を検討します。
(☎労政課(☎0942・30・9046、FAX0942・30・9707))



先進企業「アマゾンジャパン」の担当者招き、11月に市内で開かれたテレワークセミナー